

市場価格

ドル建て ドル/TOZ

Platinum	Price	Date
Open	1074.50	2022/2/28
High	1125.33	2022/2/28
Low	1038.20	2022/3/1
Close	1125.30	2022/3/4

円建て 円/グラム

Platinum	Price	Date
Open	3990.00	2022/2/28
High	4155.00	2022/3/4
Low	3836.00	2022/3/1
Close	4154.00	2022/3/4

ドル建て ドル/TOZ

Palladium	Price	Date
Open	2536.50	2022/2/28
High	3011.00	2022/3/4
Low	2536.50	2022/2/28
Close	3006.00	2022/3/4

円建て 円/グラム

Palladium	Price	Date
Open	9414.00	2022/2/28
High	11111.00	2022/3/4
Low	9414.00	2022/2/28
Close	11099.00	2022/3/4



ニュースエクスプレス

シバニエ・スティルウォーター、好調なコモディティ価格に乗り過去最高利益

南アフリカの鉱山会社、シバニエ・スティルウォーターは3月3日、コモディティ価格の高騰のおかげで業績が伸び、2021年度の南アのPGM生産は20%増加したと発表した。

同社の2021年の純利益は、前年の293億ランドから13%増加して、331億ランド(21億6000万ドル)となり、CEOのNeal Fronemanによると過去最高となった。

同社の南アでのPGM鉱山生産は59トン。一方で、総コスト(AISC)は、鉱山業界全体の上昇トレンドとは逆に5%低下したとしている。

<https://www.nasdaq.com/articles/sibanye-stillwater-posts-record-profit-on-upbeat-commodity-prices>

パラジウム、7カ月半ぶり高値 ウクライナ原発攻撃で

パラジウムが4日の取引で7カ月半ぶりの高値を付けた。ロシア軍がウクライナの原発を攻撃したことを受け、供給不安が広がっている。

0430 GMT (日本時間午後1時半) 現在、スポット価格は0.4%高の2785.59ドル。一時、昨年7月中旬以来の高値となる2835.48ドルまで値上がりした。

ロシアは世界のパラジウムの40%を生産している。

今週の上昇率は1.8%。週間ベースで2020年3月以降で最大の上昇となる可能性がある。

金のスポット価格は0.2%高の1939.67ドル。週間ベースで約3%の上昇となる見通し。

<https://jp.reuters.com/article/global-precious-idJPKBN2L10E9>

ウクライナ危機で商品高に、原油価格予想引き上げ = ゴールドマン

ロシアのウクライナ侵攻を受けて西側諸国が対口制裁を強化する中、ゴールドマン・サックスは、ロシアを主要な生産国とするコモディティ(商品)の価格上昇を予想し、原油価格の短期見通しを上方修正した。

27日のレポートで「軍事衝突激化やエネルギー制裁への懸念、停戦の可能性を背景に、短期的なコモディティ価格のレンジは極端なものになった」と指摘。

石油や欧州の天然ガス、アルミ、パラジウム、ニッケル、小麦、トウモロコシなどの価格が上昇すると予想した。

1カ月後の北海ブレント価格予想は従来の1バレル=95ドルから115ドルに引き上げ、「一段の状況悪化や混乱長期化の場合は大幅な上振れリスクがある」とした。

また、ロシアとの緊張の高まりを受けたエネルギー価格上昇で経済全体に明らかなスタグフレーション(物価高と景気悪化の同時進行)リスクが生じていると指摘。こうした状況は「金相場が今後数カ月で上昇するという見通しや、1オンス=2150ドルの目標価格に対する当社の確信を強めるもの」とした。

28日の取引で金は1900ドルを上回る水準となっている。

ゴールドマンは、ロシア中央銀行が外貨準備へのアクセスを制限されることでロシアが貿易を継続するため国内の金備蓄を活用すれば、「最後に頼れる通貨」としての金の役割が明白になるとの見方も示した。

<https://jp.reuters.com/article/crude-research-goldman-sachs-idJPKBN2KX0F3>

Translated by JBMA Osawa KAZUKO



WPIC直近の活動

- 海運業界の脱炭素化には新しいタイプの燃料と船舶推進技術の開発に対する投資と協力が欠かせない。この点に関して水素燃料は海運業界のエネルギー転換に大きな役割を担う。世界的なテクノロジー企業であるABB社と、プラチナベースのプロトン交換膜(PEM)燃料電池の先端を行くバラード・パワー・システムズ社は、大型船舶用のゼロエミッション燃料電池技術の共同開発プロジェクトに着手している。詳しくはプラチナ豆知識「燃料電池の波」(2022年3月2日)をご覧ください。<https://platinuminvestment.com/about/60-seconds-in-platinum/2022/03/02>



(@wpicjapan)

免責事項: 本資料は情報提供に過ぎず、WPICの投資提案を意図するものではなく、また、そのように解釈されるべきでもありません。